

# 人間情報工学実験 I

学科DP指標	カリキュラムマップ	到達目標	確認項目	レベル3(S~A)	レベル2(A~B)	レベル1(B~C)
G 【協働を通じた自己管理能力】	○	基本的な測定器を使い、協働して実験し、取得したデータをレポートにまとめることができる(G).	・実験 ・レポート (序論~結果)	レベル1の内容に加え、次の両方が満たされている。 ①多様な先行研究の知見を踏まえて実験に取り組むことができる(実験背景・目的). ②取得したデータについて、自身で解析や統計処理を加え、結果の信頼性や合理性を高めることができる.	レベル1の内容に加え、次のいずれかが満たされている。 ①多様な先行研究の知見を踏まえて実験に取り組むことができる(実験背景・目的). ②取得したデータについて、自身で解析や統計処理を加え、結果の信頼性や合理性を高めることができる.	基本的な測定器を使い、協働して実験し、取得したデータを分析して図表にまとめることができる.
E 【複合的な工学応用力】	◎	先行研究を踏まえて実験結果を考察することができる(E).	・レポート (結果~結論)	レベル2の内容に加え、国外の多様な先行研究の知見に基づき実験結果を考察することができる.	レベル1の内容に加え、多様な先行研究の知見に基づき実験結果を考察することができる.	先行研究の知見に基づき実験結果を考察し、指定様式のレポートにまとめることができる.

## 学科DP指標

G.【協働を通じた自己管理能力】多様な他者との協働の中で自己の役割を認識、表現し、自己管理をする力を身に付けている。

E.【複合的な工学応用力】情報工学の知識を基盤として、生体機能学、機器設計学に関する幅広い知識と、それらを複合的に応用できる思考力、判断力を身に付けている。